



東京の 伝統工芸品

江戸から伝わる匠の技

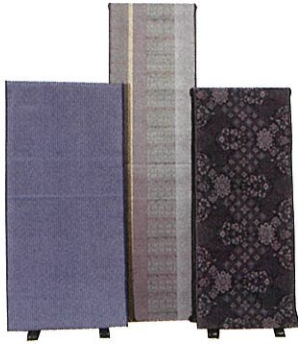


村山大島紬

(むらやまおおしまつむぎ)

主な製造地：武蔵村山市、瑞穂町、昭島市

村山大島紬の始まりは、江戸時代後期とされています。1920年頃、綿織物の「村山紺紺」と絹織物の「砂川太織」の2つが合流して、絹織物としての村山大島紬が織られるようになりました。板締め注入染色法という独特の技術で染められた紺糸を用いることが特徴です。



東京染小紋

(とうきょうそめこもん)

主な製造地：新宿区、世田谷区、練馬区ほか



小紋の始まりは室町時代にさかのぼります。江戸時代に全国から集まる大名の袴(かみしも)を染めるようになり、産地が形成され華やかに発展しました。染には伊勢型紙が用いられ、その繊細な幾何学模様と単彩の中にも粋で格調高い趣があります。

本場黄八丈

(ほんばきはちじょう)

主な製造地：八丈島

八丈島に自生する草木を染料とした草木染めで、絹糸を黄・樺・黒の三色に染め上げ、手織によって織り上げられています。室町時代に八丈島から黄紬の名で絹織物が献上されたという記録があり、江戸時代以後、粋な縦縞、格子縞が織られ、日常着として広く親しまれるようになりました。



江戸木目込人形

(えどぎめこみにんぎょう)

主な製造地：台東区、墨田区、荒川区ほか



発祥は、江戸時代中期から京都の賀茂で作られた「賀茂人形」にあります。胴体の木地に筋目をつけ、そこに衣裳地を木目込んで作られたことから「木目込人形」と呼ばれるようになりました。今日の江戸木目込人形は「賀茂人形」と比べ、顔が痩せ型で小味のきいた細かい目鼻立ちが特徴です。

東京銀器

(とうきょうぎんぎ)

主な製造地：台東区、荒川区、文京区ほか



江戸時代中期に、彫金師の彫刻する器物の生地作り手として、銀師(しろがねし)と呼ばれる銀器職人や、かんざし、神輿金具等を作る金工師と呼ばれる飾り職人が登場したことが「東京銀器」の始まりでした。現在では、食器や茶器などの生活必需品や装飾品などが作られています。

東京手描友禅

(とうきょうてがきゆうぜん)

主な製造地：新宿区、練馬区、中野区ほか

手描友禅は、江戸時代に京都の絵師「宮崎友禅齋」によって創始されたと言われています。江戸の洗練された庶民文化の中に江戸の友禅として発展し、江戸の粋を現代に伝えています。型紙を用いずに下絵から色挿し、仕上げまでの工程を手描きによって染付けします。



多摩織

(たまおり)

主な製造地：八王子市

「桑の都」と呼ばれた八王子では、古くから絹が織られ、文政年間には様々な技法が導入され、明治初期には多くの技術・技法が定着しました。多摩織は、御召織(おめしおり)、紬織(つむぎおり)など5つの織物の総称で、多摩織独特の渋い味わいが特徴です。



東京くみひも

(とうきょうくみひも)

主な製造地：台東区、杉並区、北区ほか

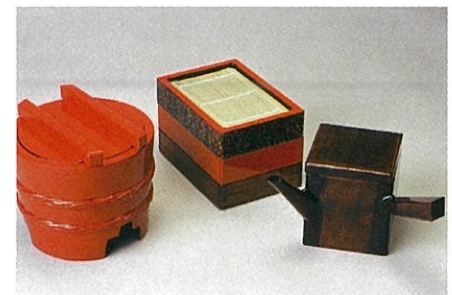


日本は世界でも珍しいくらい「ひも」の発達した国だと言われ、くみひもの起源は、江戸時代以前にさかのぼります。徳川幕府の開設により武具の需要が高まり、くみひもの生産が盛んになりました。地味の中にも、粋があり、フビ・サビと言われる渋好みの色使いが特徴です。

江戸漆器

(えどしっき)

主な製造地：台東区、中央区、足立区ほか



江戸漆器は1590年に江戸城に入城した徳川家康が京都の漆工を招いたのが始まりと言われています。享保時代以降は庶民の日常品として普及し、茶道具、座卓を始め多様な製品が生産されました。特に、そば道具やうなぎの重箱などの業務用食器が特色です。

江戸鼈甲

(えどべっこう)

主な製造地：文京区、台東区、墨田区ほか



鼈甲の歴史は古く、正倉院の宝物の中にも鼈甲の装飾品が見られます。江戸時代に張り合わせの技法が伝えられ、複雑な造形ができるようになり、町人文化の台頭とともに豪華な櫛、かんざしなどが作られるようになり、特に眼鏡枠製造は東京が主産地となっています。

江戸刷毛

(えどはけ)

主な製造地：台東区、墨田区、新宿区ほか



刷毛の歴史は古く、かつては、植物のキビの毛を用いて漆を塗る道具として使用していたと言われます。「江戸刷毛」は、江戸中期の文献に当時の刷毛が紹介されていることに由来します。刷毛の命は毛先であり、毛先を整えるとともにクセ直しと脂分の除去が大変な工程となっています。

東京仏壇

(とうきょうぶつだん)

主な製造地：台東区、荒川区、足立区ほか



元禄時代に指物師が仕事の合間に独自の技法で製作したのが始まりで、仏教の繁栄により仏壇製作に専念するようになりました。唐木材（黒檀や紫檀など）により作られ、江戸の渋好みの伝統による錆（かざり）金具を使わないシンプルな作りが特徴です。

江戸つまみ簪

(えどつまみかんざし)

主な製造地：台東区、荒川区、墨田区ほか

江戸つまみ簪は、小さく刻んだ布切れをつまんで作ることに由来します。江戸時代の初期に江戸城の大奥で古くなった着物を再利用して遊び感覚で簪にしたのが始まりと言われています。最近ではお正月、七五三、成人式などで女性の着物姿を一層ひきたたせています。



東京額縁

(とうきょうがくびち)

主な製造地：台東区、豊島区、荒川区ほか



日本では昔から生活空間を彩る屏風形式の絵画が愛好され、額縁が本格的に作られるようになったのは明治時代を迎え、欧米文化の洋画（油絵）の技術が流入されてからです。今日では日本古来の漆技術を活かし、時代の要求に沿った新感覚の額縁が製作されています。

江戸象牙

(えどぞうげ)

主な製造地：台東区、文京区、墨田区ほか

古代エジプトでは豪華な家具や装身具に象牙が用いられ、日本には奈良時代に中国から象牙彫り技法が伝えられました。象牙は、象の門歯が伸びたもので、滑らかな肌ざわり、美しい光沢、半透明の乳白色の色調に特徴があり、江戸時代には根付け、髪飾りなどに愛用されました。



江戸指物

(えどさしもの)

主な製造地：台東区、荒川区、江東区ほか



元禄時代には消費生活の発達につれ、大工職から分化し専門の指物師がいたことが知られています。江戸指物は、武家、商人、江戸歌舞伎役者用に多用されました。桑、樺、桐など木目のきれいな原材料を活かし、接合には金釘を使わずに作られています。

江戸簾

(えどすだれ)

主な製造地：台東区、港区

清少納言の「枕草子」によると、平安時代の宮廷生活で簾（御簾）が使われていました。江戸の繁栄につれ、武家屋敷、神社仏閣をはじめとして、広く庶民にも使われており、専門の御簾師もいたと言われています。天然素材の味わいをそのまま活かしているのが特徴です。



江戸更紗

(えどさらさ)

主な製造地：新宿区、豊島区、荒川区ほか

更紗（SARASA）は今から三千年以上前の遠い昔、インドで発祥し、日本には室町時代に伝えられたと言われています。更紗の魅力は、木綿に染められた五彩（臙脂えんじ、藍、緑、黄、茶）のカラフルな染め模様であり、型紙を30枚以上使い、丁寧に色を重ねて作り上げます。



東京本染ゆかた

(とうきょうほんぞめゆかた)

主な製造地：江戸川区、足立区、葛飾区ほか

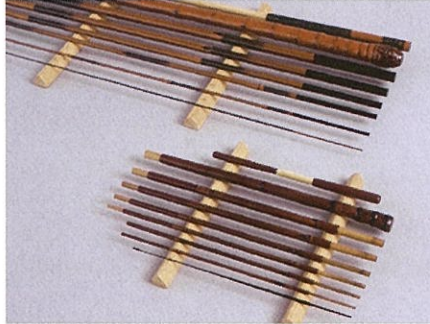


平安時代に入浴の際身にまとった湯帷子(ゆかたびら)に始まり、江戸時代には湯上り用に木綿の単(ひとえ)が流行し、その後、外着にも用いられるようになりました。現在では、「注染」という世界でも類を見ない技法を用い、「東京本染ゆかた」と「東京本染手拭」が作られています。

江戸和竿

(えどわざお)

主な製造地：台東区、葛飾区、荒川区ほか



江戸時代の享保年間に天然の竹を用いた「継ぎ竿」が作られました。日本特産の布袋竹(ほていたけ)、矢竹(やだけ)、淡竹(はちく)などの様々な種類の竹を使い分け、竹の表皮を活かした漆仕上げをして、あらゆる魚の種類に応じた竿を制作しています。

江戸衣裳着人形

(えどいしょうぎにんぎょう)

主な製造地：江戸川区、墨田区、台東区ほか



雛人形、五月人形、市松人形など衣裳を着付ける人形の総称です。江戸時代初期に京都の影響を受けて始まり、江戸中期から後期にかけて度重なる禁令のため江戸独自の発展をとげ、小ぶりであり江戸好みの質の高い人形達が生み出されました。現在もその風情は受け継がれています。

江戸切子

(えどきりこ)

主な製造地：江東区、江戸川区、墨田区ほか



江戸時代後期、江戸大伝馬町のピード口屋、加賀屋久兵衛が金剛砂を用い切子技法を工夫したのが江戸切子の始まりと言われています。切子とは、硝子の表面に金盤や砥石を用いて様々な模様をカットする技法で、菊、籠目などの伝統柄を種々組み合わせさせた切子模様が独特です。

江戸押絵羽子板

(えどおしえはごいた)

主な製造地：墨田区、江東区、葛飾区ほか

江戸時代に浮世絵師が多く活躍し、歌舞伎役者の羽子板が人気を博しました。「押絵」とは、厚紙等の台紙に布を貼ったり、布に綿をくるんで厚みを持たせた部品を作ったりして立体的な絵を作る技術で、正月の縁起物、女子の成長を祝う品として親しまれています。



江戸甲冑

(えどかっちゅう)

主な製造地：墨田区、台東区、文京区ほか

端午の節句は、男の子の健やかな成長を祝う、古からの伝統行事です。江戸時代後期には、飾り甲冑が作られ、飾り物とされていました。製造工程は複雑多岐で、金工、漆工、皮革工芸、組紐などのあらゆる伝統工芸技法を集大成しているのが特徴です。



東京籐工芸

(とうきょうとうこうげい)

主な製造地：足立区、豊島区、墨田区ほか



籐は、主に東南アジアに自生するヤシ科の植物で、地球上で最も長く生長の早い植物と言われています。古くは戦国武士の弓に挽籐が用いられ、江戸時代には生活用品として一般庶民に普及しました。今日では、しなやかで軽く、丈夫な籐製品は、日常生活に定着しています。

江戸刺繍

(えどしゅう)

主な製造地：足立区、新宿区、江東区ほか

我が国に現存する最古のものは飛鳥時代の繡仏(仏像を刺繍で表現したもの)です。装飾としての刺繍は、平安時代以降であり、公家社会を背景にその豪華さを競いました。江戸時代には、町人の衣類にも刺繍が施され、江戸刺繍が栄えました。



江戸木彫刻

(えどもくちょうこく)

主な製造地：葛飾区、足立区、台東区ほか



木彫刻の歴史は仏教の伝来と共に始まったと言われています。平安時代には仏像が彫られ、江戸時代には社寺建築の柱などに装飾を施す建築彫刻が発達しました。現在でも、仏像などの置物彫刻や、みこし、葬祭具等の付属彫刻、欄間などの建築彫刻といった木彫刻が作られています。

東京彫金

(とうきょうちゆうきん)

主な製造地：台東区、文京区、足立区ほか



彫金の技術は古墳時代を起源としています。江戸時代には刀剣のほか、煙管（きせる）、根付などにも用いられました。鏝（たがね）一つで丹念に彫り、様々な模様を描き出し、さらに独特の着色方法を用いて、精練された味わいを持つ作品を生みだしています。

東京打刃物

(とうきょううちばもの)

主な製造地：足立区、荒川区、台東区ほか



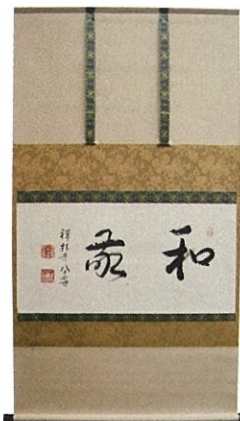
「日本書記」によると、日本の鍛冶の始まりは敏達天皇の時代（6世紀）と言われています。武士階級の台頭につれて切れ味の鋭い日本独自の打刃物が発達し、その後、文明開化とともに洋風刃物の製作が行われ、今日まで続く東京打刃物の基礎が築き上げられました。

江戸表具

(えどひょうく)

主な製造地：大田区、江東区、台東区ほか

表具・表装の技術は、仏教とともに中国から伝わり、その後、床の間の発生や茶道の興隆により需要が増え、江戸時代には上流社会の必需品となりました。伝統的な色目使いを重んじた格調高い取り合わせを基調とし、掛軸は、丈は短め、色調は淡彩、淡白なところに特徴があります。



東京三味線

(とうきょうしゃみせん)

主な製造地：中央区、台東区、豊島区ほか

三味線の祖は中国の三絃（さんげん）にあり、14世紀末に元から琉球国を経て、室町永禄年間に大阪の堺に渡来し、当時、琵琶法師が小唄や踊唄に合わせて演奏しました。東京三味線は、全工程（除く胴作り）を一人で製作しています。



江戸筆

(えどふで)

主な製造地：台東区、豊島区、練馬区ほか



「筆」は、文房四宝（硯・墨・筆・紙）の1つです。610年頃、高句麗の僧が、製法を伝えたのが筆の始まりと言われています。江戸中期に商人の台頭とともに寺子屋の急増で需要が増大し、筆職人の技術も進歩して、多くの江戸名筆を生み出しました。

東京無地染

(とうきょうむぢぞめ)

主な製造地：新宿区、中野区、杉並区ほか



染法の中で最も基本的な染で、植物で布地に色付けすることから始まりました。仏教の伝来と共に、藍、紅花が渡来し、奈良・平安時代に技術が確立され、江戸時代には江戸紫、江戸茶などの無地染が江戸庶民文化として芽生え、庶民の間で広く愛用されました。

東京琴

(とうきょうこと)

主な製造地：文京区、世田谷区、渋谷区ほか



琴は、奈良時代に雅楽として中国から伝来し、安土桃山時代にあみだされた筑紫琴が源流となっています。その後、琴師の重元房吉が琴の長さや厚み、ムクリ（縦方向のソリ）に改良を加え、音量、音質に東京琴の特徴を出しました。

江戸からかみ

(えどからかみ)

主な製造地：江戸川区、練馬区、文京区ほか



唐の国から渡ってきた紋唐紙は、時とともに江戸の武家や町人の住まいの装飾として、襖や壁に用いられるようになり、享保年間には江戸に千型もの版木があったと言われるほど隆盛を誇りました。木版摺りをはじめ、捺染摺り、砂子蒔きなど、その意匠と技術は今も受け継がれています。

江戸木版画

(えどもくはんが)

主な製造地：台東区、荒川区、文京区ほか



木版画の歴史は古く、約1,200年前に木版を利用して衣服の文様を表した蛮絵（ばんえ）が正倉院に所蔵されています。江戸時代に下絵を書く絵師、版木に彫る彫師、紙に摺る摺師の分業体制が形成され、歌麿、北斎、広重等の精緻な表現技法の確立により完成の域に達しました。

東京七宝

(とうきょうしっぽう)

主な製造地：台東区、荒川区、北区ほか



七宝は、金、銀、銅などの金属製の下地にガラス質の釉薬をのせて高温で焼成する工芸品です。東京七宝は、江戸初期、平田道仁が朝鮮からの渡来人に七宝技術を学び、凹部に色付けしたものが始まりと言われており、現在では装身具、校章、社章など多くに用いられています。

東京手植ブラシ

(とうきょうてうえびらし)

主な製造地：台東区、墨田区、荒川区ほか



19世紀の中頃、世界に向けての開国とともに、日本を訪れた欧米人への日常生活用ブラシ（洋服ブラシ、馬洗いブラシ等）が必要となり、幕府・各藩は洋式軍制を導入したことでブラシ製造工業が発展しました。手植ブラシは、機械植えに比べ、植毛が密であり、多様な台材が使用できます。

江戸硝子

(えどがらす)

主な製造地：墨田区、江東区、江戸川区ほか



日本の硝子製造は、弥生時代に始まり、江戸における硝子は18世紀の初め、鏡、眼鏡、風鈴等を製造したのが始まりとされています。欧州の技術の導入により、明治時代初期に工芸品を近代化し、東京の下町の地場産業として発展しました。

江戸手描提灯

(えどてがきちょうちん)

主な製造地：台東区、荒川区、墨田区ほか

16世紀の初め、室町時代に初期の提灯と認められる籠提灯（かごちょうちん）が使われたのが始まりと言われ、江戸時代に提灯が普及しました。提灯に描き入れる文字は江戸文字と言われ、線の入れ方を工夫して、バランスよく遠くからも見やすく描くのが特徴です。



■東京都 伝統工芸品マーク

このマークがついている製品は東京都知事が指定した伝統工芸品です。都の紋章と伝統工芸品の頭文字の「伝」をあしらいました。



東京の伝統工芸品

東京の伝統工芸品は、長い年月を経て東京の風土と歴史の中で育まれ、時代を越えて受け継がれた伝統的な技術・技法により作られています。伝統工芸品は、手作りの素朴な味わい、親しみやすさ、優れた機能性等が、大量生産される画一的な商品に比べて、私たちの生活に豊かさや潤いを与えてくれます。

伝統工芸品は地域に根ざした地場産業として地域経済の発展に寄与するとともに、地域の文化を担う大きな役割を果たしてきており、現在40品目が指定されています。

東京都伝統工芸品の指定制度

下記の要件を備える工芸品について、「東京都伝統工芸品産業振興協議会」の意見を聴いて、知事が東京都伝統工芸品に指定しています。

- 製造工程の主要部分が手工的であること。
- 伝統的な技術又は技法により製造されるものであること。

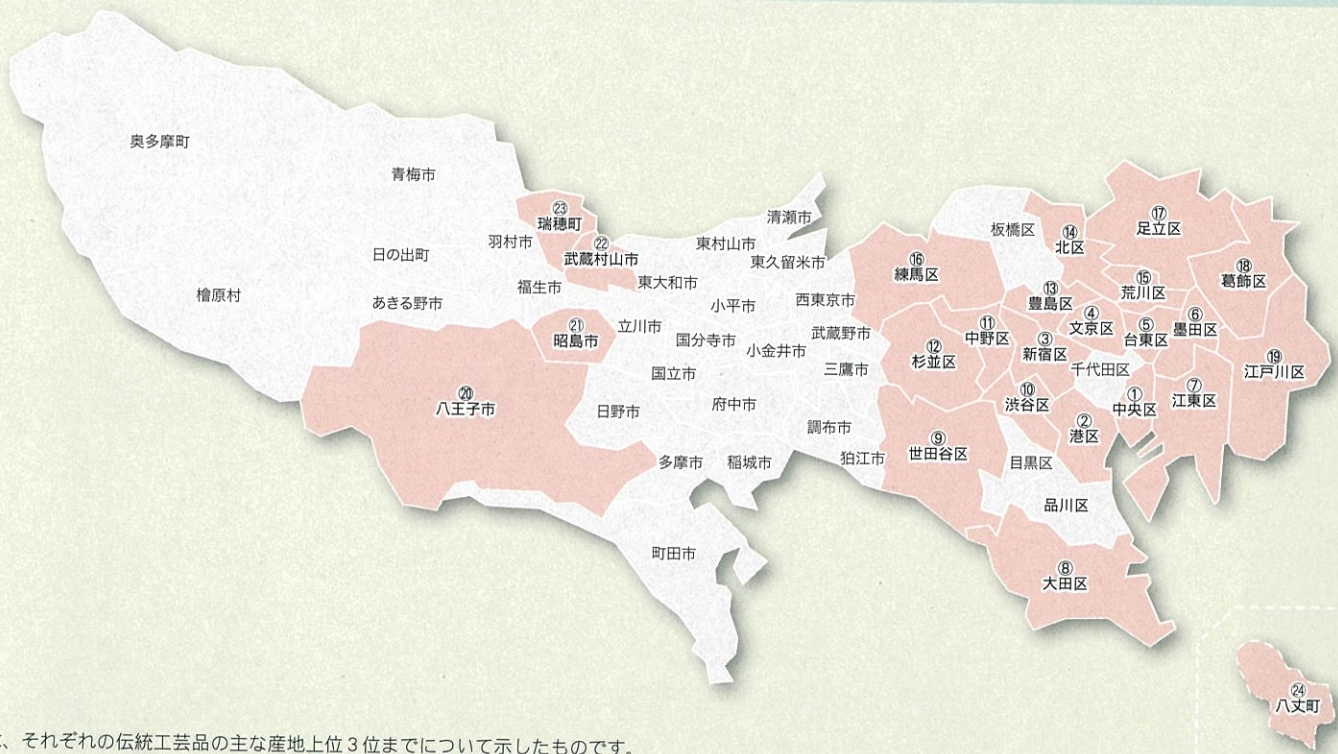
- 伝統的に使用されてきた原材料により製造されるものであること。
- 都内において一定の数の者が、その製造を行っていること。

東京都伝統工芸士の認定制度

下記の要件を備える者のうちから、「東京都伝統工芸品産業振興協議会」の意見を聴いて、知事が東京都伝統工芸士に認定しています。

- 東京都伝統工芸品の製造の実務経験が15年以上あり、現在もその製造に従事していること。
- 高度の伝統的技術・技法を有していること。
- 伝統工芸品産業振興事業の推進に協力しており、今後も協力できること。

東京の伝統工芸品産地



注 本図は、それぞれの伝統工芸品の主な産地上位3位までについて示したものです。
このため、この地域以外において製造されているところもあります。

① 中央区
江戸漆器
東京三味線

② 港区
江戸簾

③ 新宿区
東京染小紋
東京手描友禅
江戸刷毛
江戸更紗
江戸刺繍
東京無地染

④ 文京区
東京銀器
江戸鼈甲
江戸象牙
江戸甲冑
東京彫金
東京琴
江戸からかみ
江戸木版画

⑤ 台東区
江戸木目込人形
東京銀器
東京くみひも
江戸漆器
江戸鼈甲
江戸刷毛
東京仏壇

江戸つまみ簪
東京額縁
江戸象牙
江戸指物
江戸簾
江戸和竿
江戸衣裳着人形
江戸甲冑
江戸木彫刻
東京彫金
東京打刃物
江戸表具
東京三味線
江戸筆
江戸木版画
東京七宝
東京手植ブラシ
江戸手描提灯

⑥ 墨田区
江戸木目込人形
江戸鼈甲
江戸刷毛
江戸つまみ簪
江戸象牙
江戸衣裳着人形
江戸切子
江戸押絵羽子板
江戸甲冑
東京籐工芸
東京手植ブラシ
江戸硝子
江戸手描提灯

⑦ 江東区
江戸指物
江戸切子
江戸押絵羽子板
江戸刺繍
江戸表具
江戸硝子

⑧ 大田区
江戸表具

⑨ 世田谷区
東京染小紋
東京琴

⑩ 渋谷区
東京琴

⑪ 中野区
東京手描友禅
東京無地染

⑫ 杉並区
東京くみひも
東京無地染

⑬ 豊島区
東京額縁
江戸更紗
東京籐工芸
東京三味線
江戸筆

⑭ 北区
東京くみひも
東京七宝

⑮ 荒川区
江戸木目込人形
東京銀器
東京仏壇
江戸つまみ簪
東京額縁
江戸指物
江戸更紗
江戸和竿
東京打刃物
江戸木版画
東京七宝
東京手植ブラシ
江戸手描提灯

⑯ 練馬区
東京染小紋
東京手描友禅
江戸筆
江戸からかみ

⑰ 足立区
江戸漆器
東京仏壇
東京本染ゆかた
東京籐工芸
江戸刺繍
江戸木彫刻
東京彫金

東京打刃物

⑱ 葛飾区
東京本染ゆかた
江戸和竿
江戸押絵羽子板
江戸木彫刻

⑲ 江戸川区
東京本染ゆかた
江戸衣裳着人形
江戸切子
江戸からかみ
江戸硝子

⑳ 八王子市
多摩織

㉑ 昭島市
村山大島紬

㉒ 武蔵村山市
村山大島紬

㉓ 瑞穂町
村山大島紬

㉔ 八丈町
本場黄八丈

伝統工芸品「見学・体験工房」

【ご利用にあたってのお願い】

- ① ご利用は事前予約が必要です。必ず運営主体へ連絡の上、詳細を確認してください。
- ② 年末年始は休館日です。
- ③ 見学・体験が可能な時間は、原則として10時から16時です。(ただし、12時から13時は避けてください。)
- ④ 団体の受入れをしていない工芸品がございますのでご注意ください。
- ⑤ 工芸品の横の○印は、製作体験ができる工房です。
- ⑥ 掲載の金額は1人にかかる金額です。

工 芸 品 名	工房運営主体	住所・電話番号 HPアドレス・メール	交 通	見学・体験の内容・ 受入れ人数ほか	休日 (年末年始除く)
村山大島紬	村山織物協同組合	〒208-0004 武蔵村山市本町2-2-1 電話042-560-0031 http://www10.ocn.ne.jp/~murayama/	J R中央線立川駅より立川バス・西武バス 横田バス停下車	見学のみ(無料) 資料室・製品展示室・製造工程ビデオ上映 40名程度まで	土・日曜・祭日
村山大島紬	田房染織(有) 田代 隆久	〒208-0032 武蔵村山市三ツ木2-46-1 電話042-560-0116 http://www1.ocn.ne.jp/~tahusa/	J R中央線立川駅より立川バス箱根ヶ崎行約30分 薬師前下車	見学のみ(無料)	土・日曜・祭日
東京染小紋 ○ 江戸更紗 ○	(株)富田染芸 富田 篤 東京染ものがたり博物館	〒169-0051 新宿区西早稲田3-6-14 電話03-3987-0701 E-mail: tomrisen@mtj.biglobe.ne.jp	都電荒川線面影橋駅下車徒歩2分 J R山手線、東京メトロ東西線高田馬場駅下車徒歩20分	見学10時~12時、13時~16時(無料) 製作体験は土曜日の10時から 体験染付2,000円、袱紗4,500円 最大30名 10名以上は平日でも体験可	日曜・祭日 臨時休館日あり お問合せ下さい。
本場黄八丈 ○	黄八丈織物協同組合	〒100-1621 八丈島八丈町榎立346-1 電話04996-7-0516	羽田空港より航空機45分 竹芝桟橋より東海汽船11時間	製作体験入門コース 四寸小センター 2,500円 コースター 1,500円	土・日曜・祭日
江戸木目込人形○	金林 真多呂	〒110-8505 台東区上野5-15-13 真多呂人形会館 電話03-3833-9662 http://www.mataro.co.jp	都営大江戸線 上野御徒町駅下車徒歩5分 東京メトロ日比谷線 仲御徒町駅下車徒歩1分	製作体験の午前は10時~12時、午後は13時~15時、各4,000円	土・日曜・祭日
東京銀器 ○	(有)日伸貴金属 上川 一男	〒111-0055 台東区三筋1-3-13 伊藤ビル1階 電話03-5687-5585 http://www.nisshin-kikinzoku.com	都営浅草線蔵前駅下車徒歩5分	見学(無料) 製作体験(銀のしおり等) 2,000円~15,000円 製作・見学とも1~30名	不定休
東京銀器 ○	日本金工デザインスクール 西山 文章	〒125-0054 葛飾区高砂3-27-12 電話03-3673-4157	京成線高砂駅下車徒歩7分	見学(無料) 製作体験(有料)可	不定休
東京銀器 ○	東京金銀器工業協同組合	〒110-0015 台東区東上野2-24-4 電話03-3831-3317 http://www.tokyoginki.or.jp	J R 上野駅下車徒歩6分 東京メトロ銀座線稲荷町駅下車徒歩7分	製作体験(平打ちリング) 学生3,000円 (修学旅行生 10人から)	土・日曜
東京銀器 ○	銀泉いづみけん 泉 健一郎	〒111-0032 台東区浅草2-26-5 ひさご通り 電話03-3841-7361 http://www.izumiken.com	東京メトロ銀座線、都営浅草線 浅草駅下車徒歩15分 つくばエクスプレス浅草駅下車徒歩5分	見学(無料) 製作体験(リング等) 学生3,000円から	月・火曜
東京手描友禅	小倉 貞右 (号) 貞右	〒169-0075 新宿区高田馬場3-25-8 電話03-3361-2366 http://ogurasengei.com	J R山手線、東京メトロ東西線 高田馬場駅下車徒歩8分	見学のみ(無料) 団体5名まで	土・日曜・祭日
東京手描友禅 ○	染匠イトウ工房 伊藤 洋いち	〒161-0032 新宿区中落合1-14-37 電話03-3951-7967 http://www.tokyotegakiyuzen.com	西武新宿線中井駅下車徒歩3分 都営大江戸線中井駅下車徒歩5分 東京メトロ東西線落合駅下車徒歩7分	見学(無料) 製作体験(有料)可 1ヶ月前までに要予約、引率者のいる小・中学生3~5名のみ	日・月曜・祭日
東京手描友禅 ○	東京手描友禅工房 協美 大澤 敏	〒161-0033 新宿区下落合4-6-17 電話03-3954-3331 http://www.yu-zen.net/	西武新宿線下落合駅下車徒歩5分	製作体験(有料) 20名程度まで(修学旅行生は不可)	日曜・祭日
多摩織 ○	澤井 伸	〒192-0002 八王子市高月町1181 電話042-691-1032	J R青梅線拝島駅下車バス10分	製作体験(有料)	日曜・祭日

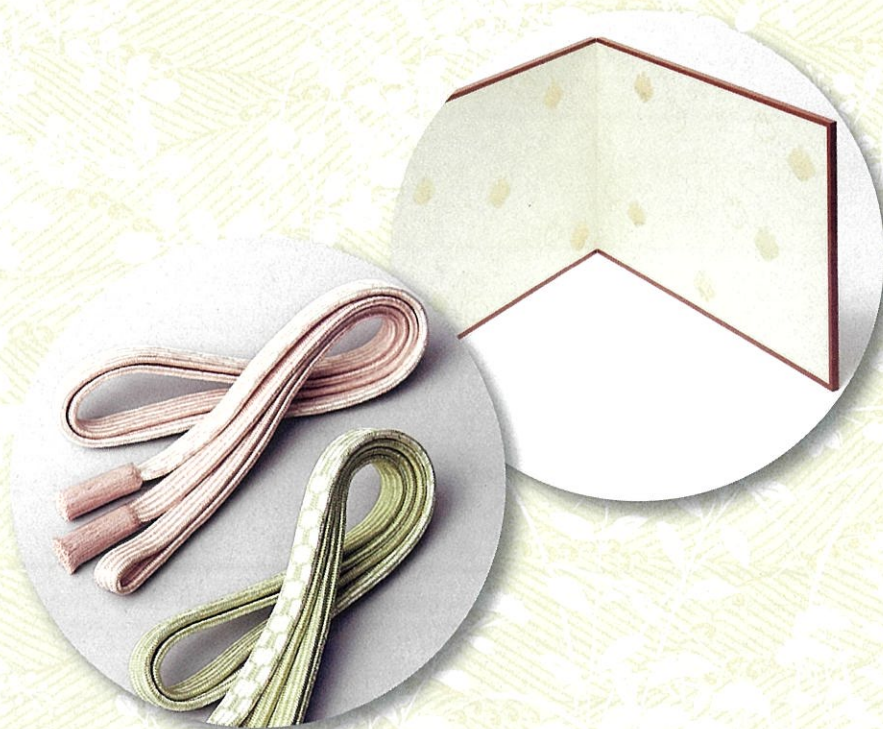
工 芸 品 名	工房運営主体	住所・電話番号 HPアドレス・メール	交 通	見学・体験の内容・ 受入れ人数ほか	休日 (年末年始除く)
江戸鼈甲	大澤鼈甲(株)	〒113-0022 文京区千駄木3-37-15 電話03-3823-0038 http://www.osawabekko.co.jp E-mail:shop@osawabekko.co.jp	東京メトロ千代田線 千駄木駅下車徒歩2分	見学のみ(無料) 5~6名	日曜・祭日 第2・4土曜日
江戸鼈甲 ○	赤塚 博	〒110-0001 台東区谷中7-6-7 電話03-3828-7957	JR山手線日暮里駅下車徒歩7分	製作体験は4名まで3,000円(学生2,000円) 1週間前予約	不定休
江戸鼈甲 ○	(株)磯貝ベッ甲専門店 磯貝 一	〒130-0015 墨田区横網2-5-5 電話03-3625-5875 http://isogai-bekko.com	JR総武線両国駅下車徒歩7分 都営大江戸線両国駅下車徒歩5分	見学(無料) 製作体験3,000円 6名程度	土・日曜・祭日
江戸鼈甲 ○	鼈甲磯貝 磯貝 實	〒111-0032 台東区浅草1-21-3 電話03-3845-1211 http://www.5e.biglobe.ne.jp/~bekko/	東京メトロ銀座線、都営浅草線ほか 浅草駅下車徒歩5分	見学(無料) 製作体験3,000円 6名程度	水曜日
江戸鼈甲 ○	森田 孝雄	〒116-0012 荒川区東尾久1-16-10 電話03-3892-3641	日暮里・舎人ライナー赤土小学校駅下車徒歩5分	見学(無料) 製作体験3,000円、3時間程度 3名程度	日曜
江戸刷毛 ○	小林 誠	〒110-0008 台東区池之端2-7-6 電話03-3821-6296	東京メトロ千代田線根津駅下車徒歩2分	見学年1回(無料)5名程度 製作体験はお問合せ下さい。	土・日曜・祭日
東京仏壇	青嶋 由雄	〒110-0016 台東区台東4-21-21 電話03-3831-9713	JR山手線御徒町駅下車徒歩7分 都営大江戸線、つくばエクスプレス 新御徒町駅下車徒歩4分	見学のみ(無料) 10名程度	日曜・祭日 第1土曜日
江戸つまみ簪	つまみかんざし 博物館 石田 健次	〒169-0075 新宿区高田馬場4-23-28 ヒルズ ISHIDA401号 電話03-3361-3083 http://www.ask.ne.jp/~kanzasi/	JR山手線、東京メトロ東西線、西武新宿線 高田馬場駅下車徒歩3分	見学のみ(無料)	開館は水・土曜のみ 10時~16時30分
東京額縁○	(有)額縁工房田島	〒111-0053 台東区浅草橋4-19-2 電話03-3851-9432	JR総武線、都営浅草線浅草橋駅下車徒歩5分	製作体験(有料、金箔を写真額におす) 7~8名程度	土・日曜・祭日
江戸象牙	東京象牙美術工芸 協同組合ショールーム	〒111-0035 台東区西浅草3-26-3 電話03-3841-2533 http://www.tokyo-ivory.or.jp	つくばエクスプレス浅草駅下車 徒歩 5分 東京メトロ銀座線田原町駅下車徒歩 12分	見学のみ(無料)8名まで	土・日曜・祭日
江戸指物	井上 喜夫	〒116-0014 荒川区東日暮里4-18-5 電話03-3807-3426	JR山手線鶯谷駅下車徒歩10分	見学のみ(無料) 1~2時間以内 4~5名	土・日曜・祭日
江戸指物 ○	木村 正	〒110-0004 台東区下谷3-1-1 電話03-3874-7926	東京メトロ日比谷線入谷駅下車徒歩 2分	見学(無料) 製作体験は材料費、島桑の著作(マイ箸)、2名より	日曜・祭日
江戸指物	戸田 敏夫	〒110-0003 台東区根岸5-9-17 電話03-3874-1504	東京メトロ日比谷線三ノ輪駅下車徒歩6分	見学のみ(無料) 3~4名程度	土・日曜・祭日
江戸指物	根本 一徳	〒116-0014 荒川区東日暮里2-44-10 電話03-3801-4676	JR常磐線三河島駅下車徒歩7分	見学のみ(無料)5名程度	土・日曜・祭日
江戸指物 ○	渡辺 彰	〒110-0012 台東区竜泉3-25-4 電話03-3873-3050 http://www.w-sashimono.jp/	東京メトロ日比谷線三ノ輪駅下車徒歩6分	見学(無料) 製作体験(ヒノキ箸)2,000円、2~8名	土・日曜・祭日
江戸簾 ○	田中 耕太郎 田中 義弘	〒111-0031 台東区千束1-18-6 電話03-3873-4653 http://www.handicrafts.co.jp	東京メトロ日比谷線入谷駅下車徒歩7分 JR山手線鶯谷駅下車徒歩12分	お問い合わせ下さい。	なし
江戸更紗○	染の里 二葉苑	〒161-0034 新宿区上落合2-3-6 電話03-3368-8133 http://www.futaba-en.jp	西武新宿線、都営大江戸線中井駅下車徒歩5分	見学(11時~17時) 製作体験はお問い合わせ下さい。	日・月曜
東京本染ゆかた	村井 米扶 村井 光寿	〒132-0024 江戸川区一之江6-17-27 電話03-3651-3108	都営新宿線一之江駅下車徒歩8分	見学のみ(無料)5名から	土・日曜・祭日
東京本染ゆかた○	東京和晒(株) 「手拭実染塾」	〒124-0012 葛飾区立石4-14-9 電話03-3693-3333 http://www.tezome.com/	京成線京成立石駅下車徒歩5分	製作体験10時~17時 16,000円 1回10名まで	概ね1ヶ月に1回実施 日程はホームページに掲載
江戸和竿	竿富 吉田 嘉弘	〒110-0008 台東区池之端2-7-13 電話03-3823-3244	東京メトロ千代田線根津駅下車徒歩 1分	見学のみ(無料)3名程度	土・日曜・祭日

工 芸 品 名	工房運営主体	住所・電話番号 HPアドレス・メール	交 通	見学・体験の内容・受入れ人数ほか	休日 (年未年始除く)
江戸衣裳着人形	市川 豊玉	〒407-0175 山梨県韮崎市穂坂町宮久保783-48 電話0551-23-0711	J R 中央線韮崎駅下車タク シー15分	見学のみ(無料)	土・日曜・祭日 1 ～5月は不定休
江戸押絵羽子板	羽子板資料館 西山 幸一郎	〒131-0033 墨田区向島5-43-25 電話03-3623-1305	東京メトロ銀座線浅草駅より 都営バス(金町行き)向島5丁 目下車	見学のみ(無料) 羽子板の展示等 お問い合わせ下さい。	月～水 日曜・祭日 不定 休あり
江戸押絵羽子板	(株)むさしや豊山	〒130-0011 墨田区石原1-28-3 電話03-3622-0262 http://hagoita.co.jp/	J R 総武線両国駅下車徒歩7 分 都営大江戸線両国駅下車 徒歩5分	お問合せ下さい。	日曜・祭日
江戸甲冑	加藤一冑工房	〒113-0033 文京区本郷6-2-7 香川ビル 電話03-3811-5042	東京メトロ南北線 東大前駅 下車徒歩5分	見学のみ(無料)3～4名程度	土・日曜・祭日
江戸甲冑	加藤 鞆美	〒113-0023 文京区向丘2-26-9 電話03-3823-4354	東京メトロ南北線本駒込駅下 車徒歩6分 都営三田線白山駅下車徒歩10分	見学(午後)のみ(無料) 5～6名程度	不定休
東京篠芸	小峰ラタン(株) 小峰 正孝 工房ショップおみね らたん	〒131-0045 墨田区押上2-10-15 電話03-3623-0433 http://www.ratan.jp	東京メトロ半蔵門線押上駅下 車徒歩1分 東武伊勢崎線東京スカイツリ ー駅下車徒歩3分	見学(無料) 工房ショップ内に資料館あり	不定休
東京打刃物	(株)庄三郎 三浦 康亘	〒121-0064 足立区保木間5-2-14 保木間工場電話03-3884-3155 根岸本社電話03-3875-8338 http://www.shozaburo.co.jp/	東京メトロ日比谷線竹ノ塚駅 より 東武バス花畑団地(林松 寺経由)行保木間5丁目下車 徒歩3分	見学(午前)のみ(無料) 5名程度	土・日曜・祭日
東京三味線 ○	向山 正成	〒132-0035 江戸川区平井4-1-17 電話03-3681-7976 http://www.mukouyama.jp	JR総武本線平井駅下車徒歩5分	見学(無料) 製作体験は3時間以上、1,500円、 2～6名	不定休
東京無地染 ○	(株)近藤染工 代表 近藤良治	〒135-0024 江東区清澄2-15-3 電話03-3641-2135	東京メトロ半蔵門線、都営大江 戸線 清澄白河駅下車徒歩2分	見学(無料) 製作体験(白生地絞り染め) 材料費2,000円、6～8名	土・日曜・祭 日 ※土曜日は 午前のみ応相談
東京琴	金子 政弘	〒146-0083 大田区千鳥3-18-3 電話03-3759-0557 http://www.kanekogakki.jp/	東急多摩川線下丸子駅、東急 池上線千鳥町駅下車徒歩5分	見学のみ(無料) 5名程度	土・日曜・祭日
江戸からかみ	(株)東京松屋 ショール ーム・ショップ	〒110-0015 台東区東上野6-1-3 電話03-3842-3785 http://www.tokyoumatsuya.co.jp/	東京メトロ銀座線稲荷町駅下 車徒歩2分	見学のみ(無料) ビデオ(30分)上映、完成品多数展示	日曜・祭日
江戸木版画	(株)アダチ版画研究所 目白ショールーム 安達 以乍牟	〒161-0033 新宿区下落合3-13-17 電話03-3951-2681 http://www.adachi-hanga.com	J R 山手線目白駅下車徒歩10分	ショールームの見学のみ(無料) 製作工程展示等 実演を年数回定期的に開催(無料)	祭日
東京七宝 ○	坂森 登	〒111-0041 台東区元浅草1-2-1 坂森七宝工芸店内 電話03-3844-8251 http://www.sakamori-shippo.com	都営大江戸線新御徒町駅下車 徒歩2分	製作体験のみ(ペンダント) 4～12名	日曜・祭日 第1・ 5土曜日
東京手植 プラシ	宮川 彰男	〒111-0041 台東区元浅草2-10-14 電話03-3844-5025 http://www17.ocn.ne.jp/~edo-hake/	東京メトロ銀座線稲荷町駅下 車徒歩2分	見学のみ(無料)	土・日曜・祭日
江戸硝子 ○	菅原工芸硝子(株)	〒283-0112 千葉県山武郡九十九里町藤下797 電話0475-76-3551 http://www.sugahara.com/ E-mail : info@sugahara.com	J R 東金線東金駅よりバス 東金九十九里有料道路小沼田 インター	製作体験(有料) 小学生以上	無休(年未年始 以外)
江戸手描提灯	(株)花藤 櫻井 悠子	〒111-0032 台東区浅草2-25-6 電話03-3841-6411 http://www2.plala.or.jp/Asakusa-Hanatchi/	つくばエクスプレス浅草駅下 車徒歩5分	見学のみ(無料)	火曜日
江戸手描提灯 ○	(株)大嶋屋恩田 恩田 舜史	〒111-0043 台東区駒形2-6-6 電話050-3593-1435 http://www.chochin-ya.com	都営浅草線浅草駅下車徒歩3分	製作体験(提灯の文字描き体験) 2,000円実費	日曜・祭日 (臨時休業あり)
江戸手描提灯	山崎屋 山田 記央	〒111-0034 台東区雷門2-9-9 電話03-3841-8849	東京メトロ銀座線浅草駅下車 徒歩3分	見学のみ(無料)	日曜・祝日

東京都伝統工芸品指定産地組合一覧

	工芸品名	産地組合名	組合電話番号	組合所在地		指定年月日 ()は旧指定年月日
1	村山大島紬	村山織物協同組合	042(560)0031	208-0004	武蔵村山市本町2-2-1	S57.12.24 (S50.2.17)
2	東京染小紋	東京都染色工業協同組合	03(3208)1521	169-0051	新宿区西早稲田3-20-12	S57.12.24 (S51.6.2)
3	本場黄八丈	黄八丈織物協同組合	04996(7)0516	100-1621	八丈島八丈町榎立346-1	S57.12.24 (S52.10.14)
4	江戸木目込人形	東京都雛人形工業協同組合	03(3861)3950	111-0052	台東区柳橋2-1-9 東商センタービル4階	S57.12.24 (S53.2.6)
5	東京銀器	東京金銀器工業協同組合	03(3831)3317	110-0015	台東区東上野2-24-4	S57.12.24 (S54.1.12)
6	東京手描友禅	東京都工芸染色協同組合	03(3953)8843	161-0032	新宿区中落合3-21-6	S57.12.24 (S55.3.3)
7	多摩織	八王子織物工業組合	042(624)8800	192-0053	八王子市八幡町11-2	S57.12.24 (S55.3.3)
8	東京くみひも	江戸くみひも伝承会	03(3873)2105	111-0022	台東区清川11-27-6 株桐生堂内	S57.2.4
9	江戸漆器	東京都漆器商工業協同組合	03(3844)1606	111-0036	台東区松が谷3-17-11	S57.2.4
10	江戸籠甲	東京籠甲組合連合会	03(5607)0888	103-0004	中央区東日本橋2-27-7 (株)東京装粧会館408号	S57.2.4 (H27.6.18)
		東京籠甲工芸品工業協同組合	03(3828)9870	111-0001	台東区谷中3-22-8	
		東日本ベッ甲事業協同組合	03(5607)0888	103-0004	中央区東日本橋2-27-7 (株)東京装粧会館408号	
		東京装粧品協同組合第4部会	03(3862)4741	111-0053	台東区浅草橋3-21-2	
11	江戸刷毛	東京刷子工業協同組合	03(3622)5304	130-0001	墨田区吾妻橋2-2-14 東京ブラシ会館	S57.2.4
12	東京仏壇	東京唐木仏壇工業協同組合	03(3620)1201	120-0005	足立区綾瀬4-9-32 コーポすみれ1階	S57.12.24
		東京宗教用具商業協同組合	03(3542)5771	104-0061	中央区銀座7-14-3	
13	江戸つまみ簪	東京髪飾品製造協同組合	03(3861)0522	111-0056	台東区小島2-9-10	S57.12.24
14	東京額縁	東京額縁工業協同組合	03(3851)9432	111-0053	台東区浅草橋4-19-2 (有)額縁工房田島内	S57.12.24
15	江戸象牙	東京象牙美術工芸協同組合	03(3841)2533	111-0035	台東区西浅草3-26-3	S58.3.10
16	江戸指物	江戸指物協同組合	03(3874)1504	110-0003	台東区根岸5-9-17 戸田指物内	S58.8.1 (H9.5.14)
17	江戸簾	東京簾工業協同組合	03(3873)4653	111-0031	台東区千束1-18-6 田中製簾所内	S58.8.1
18	江戸更紗	東京都染色工業協同組合	03(3208)1521	169-0051	新宿区西早稲田3-20-12	S58.12.27
19	東京本染ゆかた	関東注染工業協同組合	03(3693)3333	124-0012	葛飾区立石4-14-9 東京和晒(株)内	S58.12.27
20	江戸和竿	江戸和竿組合	03(3803)1893	116-0003	荒川区南千住5-11-14 竿忠方	S59.11.1 (H3.5.20)
21	江戸衣裳着人形	東京都雛人形工業協同組合	03(3861)3950	111-0052	台東区柳橋2-1-9 東商センタービル4階	S59.11.1 (H19.3.9 ※)
22	江戸切子	江戸切子協同組合	03(3681)0961	136-0071	江東区亀戸4-18-10	S60.7.15 (H14.1.30)
23	江戸押絵羽子板	東京都雛人形工業協同組合	03(3861)3950	111-0052	台東区柳橋2-1-9 東商センタービル4階	S60.7.15
24	江戸甲冑	東京都雛人形工業協同組合	03(3861)3950	111-0052	台東区柳橋2-1-9 東商センタービル4階	S61.7.18 (H19.3.9 ※)
25	東京籐工芸	籐事業協同組合	03(3862)3101	111-0052	台東区柳橋1-30-6 小西貿易(株)内	S61.7.18
26	江戸刺繍	東京刺繍協同組合	03(5691)6230	121-0823	足立区伊興4-6-11-102	S62.7.27
27	江戸木彫刻	日本木彫連盟江戸木彫刻	03(3849)0217	120-0015	足立区足立1-34-17 サトー彫刻内	S63.7.29
28	東京彫金	日本彫金会	03(3381)9859	166-0012	杉並区和田3-8-13 小川様方	S63.7.29
29	東京打刃物	東京刃物工業協同組合	03(6904)1080	175-0094	板橋区成増2-26-18-101	H元.7.26
30	江戸表具	東京表具経師内装文化協会	03(5826)1773	110-0015	台東区東上野4-10-14 第2東ビル402号	H元.7.26
31	東京三味線	東京邦楽器商工業協同組合	03(5836)5663	132-0035	江戸川区平井4-1-17 向山楽器店内	H2.8.9
32	江戸筆	一般社団法人東京文具工業連盟	03(3864)4391	111-0053	台東区浅草橋1-3-14	H2.8.9
33	東京無地染	東京都染色工業協同組合	03(3208)1521	169-0051	新宿区西早稲田3-20-12	H3.8.15
34	東京琴	東京邦楽器商工業協同組合	03(5836)5663	132-0035	江戸川区平井4-1-17 向山楽器店内	H3.8.15
35	江戸からかみ	江戸からかみ協同組合	03(3842)3785	110-0015	台東区東上野6-1-3 東京松屋ショールーム・ショップ内	H4.8.20 (H11.5.13)
36	江戸木版画	東京伝統木版画工芸協同組合	03(3830)6780	112-0005	文京区水道2-4-19	H5.12.17 (H19.3.9)
37	東京七宝	東京七宝工業協同組合	03(3844)8251	111-0041	台東区元浅草1-2-1 坂森美術七宝工芸店内	H14.1.25
38	東京手植ブラシ	東京刷子工業協同組合	03(3622)5304	130-0001	墨田区吾妻橋2-2-14 東京ブラシ会館	H14.1.25
39	江戸硝子	一般社団法人東部硝子工業会	03(3631)4181	130-0026	墨田区両国4-36-6	H14.1.25 (H26.11.26)
40	江戸手描提灯	東京提灯業組合	03(3801)4757	116-0003	荒川区南千住2-29-6 汨橋大嶋屋内	H19.12.19

※「江戸衣裳着人形」と「江戸甲冑」は「江戸節句人形」の名称で、国の指定を受けました。



◆お問い合わせ先

東京都産業労働局商工部経営支援課
 〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
 電話 03(5320)4659
 ホームページ
<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/shoko/dentokogei/japanese/>
 公益財団法人東京都中小企業振興公社 城東支社
 〒125-0062 東京都葛飾区青戸七丁目2番5号
 電話 03(5680)4631
 ホームページ <http://www.tokyo-kosha.or.jp/>

産業労働局商工部経営支援課
 平成28年5月発行
 登録番号(28)51

リサイクル適性[®]
 この印刷物は、印刷用の紙へ
 リサイクルできます。

R100
 主紙(1/4)配合率100%再生紙を
 使用しています。